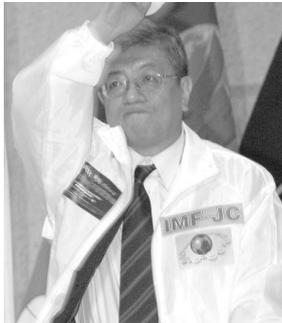


しい労働の実現を求めて

連合／連合東京／GUFs 日本組織が共同開催



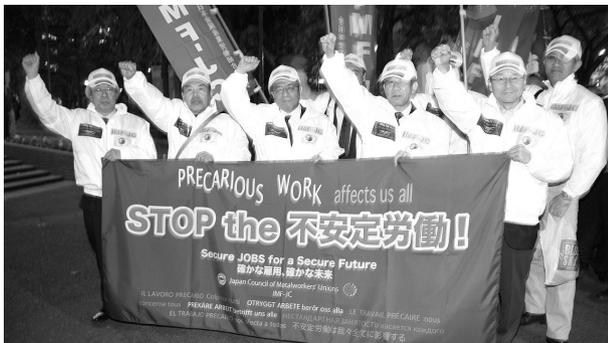
IMF-JC を代表して壇上から参加者に伝える西原 JC 議長



世界の取組を報告する ILO キャンベル局長



古賀連合会長を先頭に銀座を行進



アピールウォークする IMF-JC 議長・副議長



事例報告 2 星野副委員長



事例報告 1 佐古委員長



集会に参加する全電線の仲間たち



電機連合のメンバー



東京駅前を通過する集会参加者たち

2009年10月16日(金)夕刻、東京・日比谷野外音楽堂で、ITUC、IMFからGUFの提唱する「不安定労働に対抗する世界行動デー」の一環として、連合とGUF(国際産業別組織)日本協議会の共催で「人間らしい仕事と生活を実現する2009ディーセントワーク集会」を開催した。「すべての人に人間らしい労働を実現しよう!」をメイン・スローガンに掲げた、同集会には、GUF日本協議会の一員として、IMF-JC事務局も、そろいのグリーンのウインドブレーカーと帽子をかぶって、IMF-JC加盟5産別のメンバーと共に参加した。

GUF日本協議会の代表紹介では、IMF-JCの西原浩一郎議長(自動車総連会長)が紹介され、壇上から参加者に応えた。

冒頭、10月9日の連合大会で新会長に就任した古賀伸明連合会長(元IMF-JC議長)が挨拶に立ち、ディーセントワーク実現の決意を表明した。集会では、「ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい労働)を求める世界の取り組み」について、ILO(国際労働機関)経済労働市場分析局のダンカン・キャンベル局長から報告を受けた後、日本の取り組み事例2件の報告を受けた。一つ目は、私鉄総連の私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部の佐古委員長から、非正規労働者を無くす取り組みについ

2009
ディーセント
ワーク
集会

全てのの人に人間ら



銀座通りを行進する IMF-JC議長・副議長



連合の取組を報告する南雲連合事務局長



挨拶する古賀連合会長



集会最後に行った「スタンドアップ」世界同時イベント



集会アピールを全員の拍手で採択



アピール採択



集会に参加する基幹労連の仲間たち



行進するJAMの仲間たち



自動車総連メンバーと一緒に進行する JC 事務局

集会終了後、参加者は、会場の日比谷公園から、銀座ストリート、東京駅周辺をプラカードなどを持って、アピールウォークを行った。IMF-JCも、西原議長、中村・河野(かわの)・内藤、前田各副議長を先頭に、「Stop the 不安定労働」の横断幕を掲げ、JC事務局、5産別のメンバーたちと共に、「ディーセントワークを実現しよう」などシュプレコールしながら行進した。

て、二つ目は、連合東京の東急セキュリティユニオンの星野副委員長から、非正規労働者を中心とした組合の結成報告を受けた。南雲連合事務局長から、連合のディーセントワーク実現への取り組みについて報告した後、「今こそ、新しい政権のもとで、正規雇用の拡大、非正規労働者の待遇改善、積極的な就労支援『働く貧困層』の解消、均等待遇の実現、雇用・就労形態による格差是正、社会的セーフティネットの整備・拡充などに取り組み、すべての働く者にディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)が保障される社会を実現しよう」との内容のアピールが採択された。集会最後には、貧困をなくすために「STAND UP(立ち上がる)」世界同時イベントを、「スタンドアップ」の声を出しながら一斉に立ち上がり、全員で「温暖化はまず貧困者の命を狙う」など書かれた赤いシートを高く掲げた。